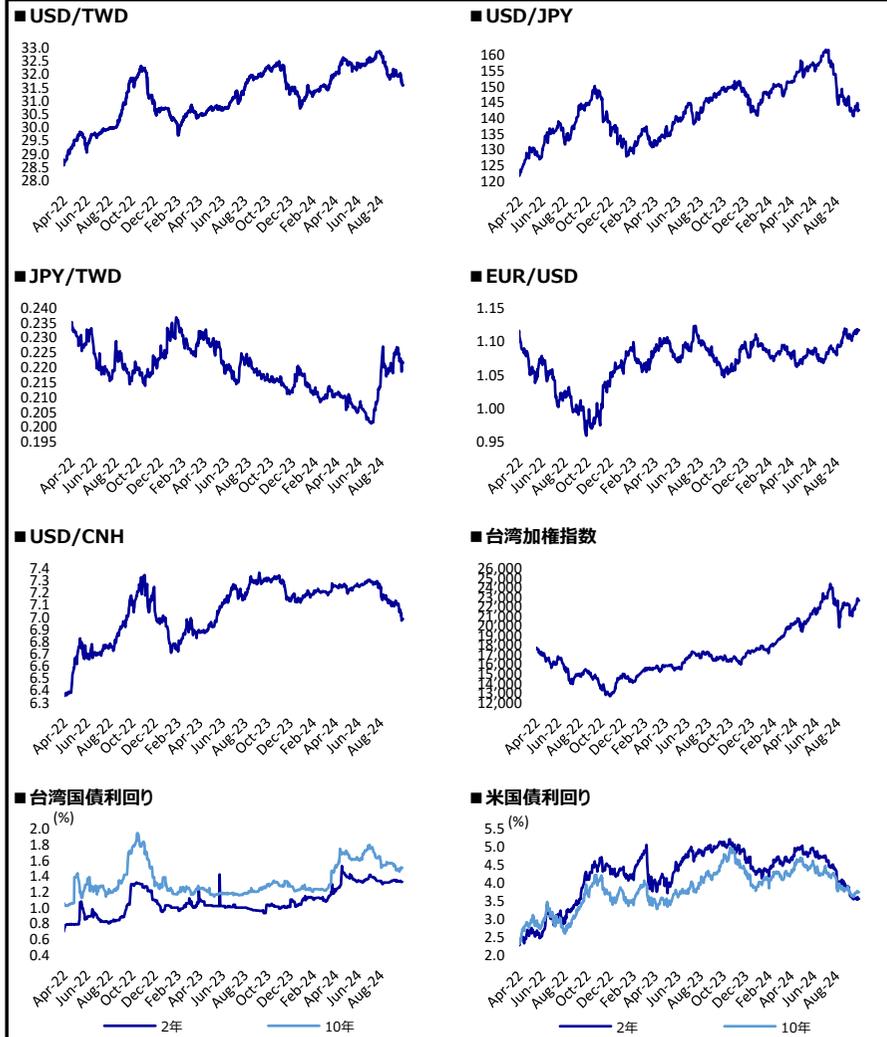


市場動向



先週の市場動向

**■ USD/TWD**  
先週のドル/台湾ドルは下落。週初9/23は、31.980でオープン後、グローバルに景気後退懸念が広がる中、リスクセンチメントが悪化した他、海外債券投資資金送金が見られ、ドル買いが進み32.00台半ばまで上昇。9/24は、オープン直後ドル買いが進み一時32.071まで上昇。その後、中国人民銀行より、近い将来に預金準備率と金利を引き下げるとのスタンスが示されたことを受けて、アジア通貨全般に買い圧力が高まり31.90台後半まで下落した。9/25は、前日海外時間に発表された米9月カンファレンスボード消費者信頼感指数が弱い結果となったことを受けてドル売りが進み、31.80近辺まで下落。9/26は、材料に欠ける中、方向感に乏しく31.80台半ばで揉み合いの推移。9/27は、石破氏による自民党総裁選勝利が報じられたことを受けて急速に円高が進む中、台湾ドルも連れ高となり一時31.664まで下落した。最終的には前週比0.9%ドル安台湾ドル高の31.688で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は1,027.4億台湾ドル。

**■ USD/JPY**  
先週のドル/円は下落。週初9/23は143.81でオープン後、材料に欠ける中、方向感に乏しく143円台半ばで揉み合いの推移。9/24は、日銀の植田総裁より「円安の修正で輸入物価の上振れリスクが和らぎ、政策判断に時間的余裕が出来た」とのスタンスが示されたことで円売りが進み144円台半ばまで上昇。その後海外時間に発表された米景況感指標が弱い結果となったことを受けて、ドルが売り戻され143円台前半まで下落した。9/25は、中国人民銀行より広範な景気刺激策がアナウンスされたことを受けてリスクセンチメントが改善し、円売りが進み144円台後半まで上昇。9/26は、海外時間に発表された米8月耐久財受注が市場予想を上回る結果となったことを受けて、ドル買いが進み145円近辺まで上昇。9/27は、自民党総裁選を控え高市氏の勝利が予想される中、日銀による金融緩和維持が意識され、円売りが進み一時146.49まで上昇。しかしその後、石破氏の勝利が報じられると、金融緩和撤廃が意識され、円が急速に買い戻され一時142.07まで下落した。最終的には前週比1.2%ドル安円高の142.21で先週の取引を終了。

今週の見通し

**■ USD/TWD** 予想レンジ：31.400-31.700  
今週は下落を見込む。リスクセンチメントの改善や、輸出業者による外貨売りが意識される場合、台湾ドルが買われやすいであろう。

**■ USD/JPY** 予想レンジ：141.00-144.00  
今週は揉み合いの推移を見込む。自民党総裁選等の重要イベントを終え、材料に欠ける中、方向感に乏しい値動きとなるであろう。

今週の予定

9/30 (MON)	
10/1 (TUE)	米9月製造業PMI、米9月製造業ISM、米8月JOLTS求人数
10/2 (WED)	米9月ADP雇用統計
10/3 (THU)	米9月PMI景況感指数、米9月サービス業ISM
10/4 (FRI)	米9月雇用統計

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。